

に、CC 拡大目標達成に向けて、中国としては世界中の技術協力を強く求めている。

3-2 連鑄拡大への課題

中国側の CC 拡大への切実な思いが強く浮かび上がっているのであるが、その切実さが際立つがゆえに、生産技術・設備技術の面からの体系的な連鑄拡大への取組みの弱さを感じた。

連鑄生産量の拡大に対しては、いわゆる大型化、高速化、連続化の規模拡大を志向することが、最も容易な方策である。この観点に立つて、ヒートサイズ拡大の検討や、ミニミルとの業務分担の整理が早急に着手されなければならないと考える。

連鑄拡大施策の効率という点からみれば、最先端技術を外国から積極的に導入することであるが、中期的視点で連鑄技術の工業化、普遍化の到達速度を考えた時に、技術導入一辺倒に進むのか、導入技術をベースに中国独

自技術をどこまで拡大するのか、プログラムの一日も早い作成が望まれる。

高品質鑄片の安定製造、安定高生産性の確保、といった操業技術の集大成には、連鑄固有の各要素技術が所定のレベルに到達していることは必要条件であるが、高性能な制御機器、情報処理装置などを最大限活用することが望ましい。この操業技術を支える周辺技術と総称される領域拡大と、対応レベルアップとが連鑄拡大ニーズと明確にリンクされる必要がある。

4. おわりに

「一日も早く先進国レベルに追いつきたい」という中国連鑄関係者のピンと張りつめた熱気の中では、雪で迎えられた上海の街を吹きぬける風が、むしろ心地よく感じられた。と同時に、何らかの形ででも彼らに力になれるように、との念を強くした。

情報センターだより

オンライン技術文献検索の受託

技術開発や講義原稿起草には、関係文献の収集通読がその第一歩でありますがこのためにはオンライン検索が便利です。ただこの検索方式には、Boole 論理による検索式と鍵となる言葉 (Keyword) の辞典であるシソーラスについての知識が必要となります。当センターには、この分野の専門家が常勤し、検索希望者の依頼に応じて検索操作を代行しています。依頼は下記の電話・Fax・Telex. のいずれを利用して結構です。ただ検索の対象をできるだけ具体的にお書きになりますと、操作が容易で端末機の使用時間、従って料金も割安となります。日本語文献データベースでは、日本科学技術情報センター

の JOIS II が便利で外国語のデータベースより料金もはるかに安価です。依頼検索の場合は検索結果と共に料金請求書をお送りしますので、それにより御支払い下さい。当センターに来協し端末機操作をされることはもちろん結構で規定料金のみのお支払いですが、電話、Fax、Telex. 等による検索依頼に対しては、問い返し等の場合も多いため検索の難易度により、4%、7%、10%の3段階により規定料金に割り増しを付けますので御了承下さい。(難易の程度は良心的に当方の所用時間、通信料等を考慮して決めさせていただきます。) なお実施は、昭和 61 年 10 月 1 日からです。

申し込み先

住所：〒100 東京都千代田区大手町 2-7-1
日本ビル別館 10F
Tel : (03) 241-1228
Fax : (03) 241-3941
Telex : 02223560